

はたらく若者

第8回



山本 友菜さん 21歳
ドラッグストア勤務

終身雇用制度は崩壊し、働き方が大きく変化している今日。一人ひとりでみると、よくある話かもしれませんが、そのはたらく姿から現代の若者のすがたがあぶり出されるのではないか。「はたらく」から若者の今を見つめます。

今の仕事について教えてください。

ドラッグストアで販売のお仕事をしています。今年の10月に転職をして入社したばかりです。今は仕事で必要な登録販売者の資格をとるための勉強も頑張ってます。試験は来年8月に受験予定。医薬品の品出しをしながら覚えたり、休みの日にはセンターの自習室で勉強したり……。登録販売者の資格は2年間の実務経験も必要なので、資格取得より先に実務経験を積みながら働いていて、今の職場にこのタイミングで転職してよかったなと思っています。

なぜこの仕事に転職しようと思ったのですか。

前職はスーパーのレジとサービスカウンターでの業務を行っていましたが、もっと仕事の幅を広げたくて転職を決意しました。今の仕事は接客、品出し、レジ、電話対応など、前職に比べて幅広いお仕事をしています。前の職場では残業が許されなかったので、必要な残業が認められて、残業代も支払われる今の職場はありがたいです。レジや電話対応、ギフトラッピングは前職の経験を活かしています。営業時間は今の方が長いけ

う思っています。でも、将来的には結婚したいし幸せな家庭を築きたいですね。

あなたにとってははたらくとは。

生きていく上で必要なこと。生活していくため、お金を貰うために、それに見合う内容をやり遂げること。でもただ働くだけじゃつまらないからその中で自分がやりたいことを見つけて、楽しくお仕事することが大切な気がします！

コロナ禍での転職でしたが、何か苦労がありましたか。

最初は調剤薬局を志望していたんです。もともと事務をしたいと思っていて、2、3社受けたんですが、落ちちゃって。倍率が高いんですね。1名だけしか採用がなくて、でも、やっぱり経験者が優遇されるから。それで、もう少し視野を広げた時に目を付けたのがドラッグストアでした。方向転換してから受けたのは今の会社が1社目です。結果としては、今までの経験も活かせるし、資格も取れるし、切り替えて転職活動をしてよかったなと思います。今はすべてが勉強だし、チャレンジ。楽しいです。でも、「一方で「社員」としての責任も感じています。登録販売者の資格を取る前提で入社したこともあって、「早く資格取らなきゃ」とも思うし、「資格が取れて当たり前」な雰囲気もあるので、それがちょっとプレッシャーかな。働きながら勉強するのは大変。でも休みの日に「やるしかない！」って頑張ってます。センターの自習室も利用させてもらってます。

何のために働いていますか。自立したいからです。親の手を

ど、思ったより負担も少なかったし、前の職場もソフト制だったから、それはあんまり苦じゃないかな。今年は新型コロナウイルスが流行していますが、何かその影響はありましたか。

あんまり感じないかなあ。緊急事態宣言が出された頃は前の職場で働いてましたが、私自身はあんまり影響を感じなかったですね。店舗の売り上げは増えていたんじゃないかな。普段の業務に加え、カートや買い物かごの消毒をしたりもしていました。あ、でもお店で使われていたビニールカーテンがペラペラのフィルムで……。それは「大丈夫かな」ってちょっと不安でした。破れたり、カーテンをくぐってくる人がいたりしたので。普段はバイクで通勤してたので通勤中のコロナの不安はなかったですが、雨の日も意地でもバイクで通勤してました。やっぱり電車は不安なので……。親に送り迎えをしてもらった日もありましたね。今の職場でも、コロナの不安があります。前の職場よりお客さんと近距離で1対1で話すことが多いし、時々マスクをしていないお客さんもいますし……。

